

# 塾での勉強マニュアル

## ～ 個別指導編 ～

### ☆ 英単語小テスト ☆

授業科目に関わらず、塾のある日は毎回実施します。授業の最初の10分くらいで行いますので、必ず事前に覚えてくること。20点中16点合格です。16点未満の場合には、同じ範囲で、次の授業の時に追試を行います。単語テストは、パンチで穴をあけてフォルダに保管しておいてください。

### ☆ 勉強の進め方 ☆

#### 1. 内容の理解

ワークの解説文や例文をよく読んで、大切と思われる場所を赤ペンや蛍光ペンでマークする。理科・社会については、対応する教科書のページも最初から最後まで読み込む。

【目安5分～10分】

#### 2. 問題を解いてみる

- 解説文や教科書を読んで完全に理解できた → そのまま問題を解いていく
- 解説文を読んでもよく意味が分からない → 問題を解く前に先生に質問

◇ 質問の仕方の例「ここはどういう意味ですか?」「この言葉の意味が解りません」

問題を解く際には、 <b>解説文はできるだけ見ないように</b> してください。どうしても分からない場合・思い出せない場合には、解説文を見ても構いません。英和辞書は使っても構いません。リスニングの問題は、先生に言って <b>タブレット</b> を借りてください。
---

◆ 学校での既習・未習に関わらず、重要な概念については先生が補足説明しますので、安心してください

☞ ワンポイントアドバイス：先生がホワイトボードを使って誰かに説明している時は、多くの場合重要な概念についてお話しています。たとえ自分より上の学年のお話であっても、いずれ将来学ぶことですから盗み聞きしても損はありませんよ！

### 3. 丸付け

見開き1ページ分の問題（科目によっては片面1ページ）が解き終わったら、先生に知らせます。

「(解き) 終わりました」 → 先生が来て赤ペンで丸付けをします

先生が他の生徒に説明している時は、待っている間、もう一度間違いがないか確認しておいてください。もし間違えていない自信があれば、次の問題に進んでおいてください。

### 4. 間違った問題の解きなおし

✓ **単純な間違い**：いわゆる「凡ミス」と呼ばれる単純な計算ミス、スペルミスなど。凡ミスと思って侮っていると、テストで思わぬ失点に繋がる可能性があります  
⇒ 解きなおしをしながら「次は同じ問題は間違えない」と心に誓ってください。

✓ **調べたら分かる間違い**：教科書・ワーク・辞書などを調べたら分かる間違い。この手の間違いをした問題は、テストで出されると「知っているかも、見たことあるかも」となるものの、実際には解けないものです。  
⇒ できるだけ自分で調べて理解をし、解決してみてください。テスト前にはもう一度解けるかどうかを確認すると良いと思います。

✓ **どうしても原因が分からない間違い**：考えても調べても分からない、上のどちらにも当てはまらない間違い。テストで出されると「ちんぷんかんぷん」となる問題です。  
⇒ 必ず先生に質問し、自分が100%納得できるまで何度でも説明してもらうこと。解き方が理解できたら、自分で一から解きなおしてみてください。テスト前には理解の手順を含めてもう一度確認すると良いと思います。

☞ ワンポイントアドバイス → 間違った回答を消しゴムで消すことはお勧めしません。誰しも過去の過ちは綺麗さっぱり消してしまいたいものですが、間違いを消さずに残しておくことで、後から見た時に「なぜ」間違ってしまったのかを知ることができます。また、自分がどのような問題でよく間違えるのか、その傾向をつかむこともできます。数学や理科など、スペースが必要な科目については別途間違い直し用のノートを用意して、解きなおしはそのノートにするとよいでしょう。

### 5. 解きなおしの丸付け

解きなおしが終わったら、先生に青ペンで丸付けをしてもらいます

⇒ 解きなおしの結果が全て○ → ステップ1に戻ります

⇒ まだ間違いがある場合 → ステップ4に戻ります

以下、繰り返し